

# 第8回ごみ処理恵庭モデル検討会振り返り

資料1

日時→令和4年10月13日(木)15:00~17:00  
場所→恵庭市民会館2階 中会議室  
出席7名 欠席3名

## 1. ごみ処理恵庭モデル確立に向けた提言(素案)について

提言の素案として、『はじめに』『恵庭市のごみ処理の現状』『概要』『テーマ間の関わり』『ごみ処理恵庭モデル確立に向けて』『資料』について事務局より説明。

### 議論まとめ

▶ごみ処理恵庭モデルとは何を示しているのか、恵庭市の特徴や魅力(現状認識)、抱えている課題をより明確にすべき。

▶『はじめに』の重要性、読み手の心を掴む冒頭の表現。専門用語や難しい言葉だと読み進めてもらえない。構成についてはもっとシンプルでもよいのでは？設置経緯→特徴(恵庭モデル)→もっとPRするために 等

▶ごみ処理恵庭モデルが目指すべき姿を図(概略等)で示しては？課題をごみ処理フローの図の中で示すことも有効。

▶資源物の分別収集に関する課題も提言に盛り込めるとよい。

▶『サービスの向上』『コスト削減(適正化)』『分別徹底』というキーワード

## 2. ごみ処理手数料について

『環境省 一般会計基準』に則って間接経費を含めて(フルコストで)試算した『処理原価(ごみ量全体、各部門ごと、ごみ種別ごと)』や『近隣市町村手数料の状況』『産業廃棄物の民間受入先』について事務局より説明。

### 議論まとめ

▶ごみ処理量の見通し数量について、恵庭市一般廃棄物処理基本計画と実績の乖離がみられる点について見直す。

▶市内事業者の多くは、産廃(特に廃プラ)の受入れ先が市内にないため、恵庭市へ搬入をしている。あわせ産廃の必要性について第9回モデル検討会で議論。

▶処理原価の積算について、市民に分かりやすく見えるように工夫しては？→何パターンかに分けて今後提示。

▶事業系廃棄物の処理原価の考え方や近隣の実態は？燃料費や資材の高騰により疲弊している事業者が増えている。近隣市や国際情勢等も踏まえた手数料算定を。

▶物価上昇や労務単価が上昇しているが人件費据置？→人件費は市職員の賃金ということで固定。

▶循環型社会推進費のR3とR4の差は？→ごみ袋製造委託費の計上誤り。数値の乖離要因も含め精査の上再度提示。

▶民間処分先は市の料金設定に応じて手数料を設定している。